

ハートライナー倶楽部

Heartliner Club

皆様のヨーロッパ生活を応援する日本通運の会報誌

欧州版

4

vol. 165
April 2020

ファミリー・フレンドリーな
ケンブリッジ大学付属博物館
(イギリス)



こんな時
だから

日本のテレビ

同時放送のニュースを毎日放送 

インターネットで簡単視聴! PC、スマホ等で即日視聴!

お得!
今がチャンス!! **きりかえ** **キャンペーン!**

お手軽な **短期パス**

7日間 ▶ **€15**

14日間 ▶ **€28**

\\ ご視聴後、7日以内に /
12ヶ月契約への **きりかえ** で
€15/€28
キャッシュバック!

お得な **12ヶ月契約**

月額視聴料が1年間ずっと

20%OFF!

[年間で €120 もお得!]

JSTVは日本のニュース、話題のドラマ、バラエティーなど日本の番組24時間放送中!

音楽とともに生きた
夫婦の物語。

新
連続
テレビ小説
エール

毎週月～土曜放送



大河ドラマ
麒麟がくる

明智光秀 長谷川博己

毎週日曜放送



ニュースは
日本と同時放送

ニュースウオッチ9

毎週月～金曜放送



Don't sleep through life!

マツコの知らない世界

TBS系バラエティー

毎週金曜放送



日本テレビ系ドラマ
同期のサクラ

毎週火曜放送



NHK
ニュース7

毎週月～日曜放送



国際報道
2020

毎週月～金曜放送



※番組内容や放送日は変更されることがあります

お申込みは
今すぐウェブで!

www.jstv.co.uk

Tel. +44 20 7426 7330
[月～金 10:00～17:00(CET)]

 **NHK CosmoMedia Europe**

欧州では、当社以外の日本のテレビ配信サービスはすべて違法ですのでご注意ください。



04 Travel

ファミリー・フレンドリーな ケンブリッジ大学付属博物館 〈イギリス〉



08 Europe Now

ヨーロッパの街から

- スペイン ● マラガ「セマナ・サンタの宗教行列」
- フランス ● レクトゥール「ブルー・ドゥ・レクトゥール」
- ドイツ ● デュッセルドルフ「サウンド・オブ・デュッセルドルフ」
- ポルトガル ● ポルト「サン・ジュアン前夜祭」
- トルコ ● エスキシェヒル「トルコの最新美術館」

13 Wine

今月の1本

サン・トバン・リュス、マルク・コラン・エ・セ・フィス



14 Healthy Life

なるほど！ヘルシーライフ

ビタミンNと健康



欧州日通 Heartliner Club 事務局

総合問い合わせ先：

(国番号) **49 (0)211 90495 0**

発行者：欧州日本通運

編集・制作：A Concept Limited

掲載記事および広告掲載に関するお問い合わせ

A Concept Limited

Beaufort House, 5 Middlesex Street, London E1 7AA UK

email: info@a-concept.co.uk

- 本誌掲載の記事・写真・イラストの無断転載を禁じます。
- 本誌に掲載されている広告内容に関して、発行者および編集者は一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
- 掲載する内容には万全を期しておりますが、取材後の変更等もございますので、ご利用される場合はご自身でご確認ください。尚、記事の内容をご利用されて生じた損失やダメージに関しては、発行者および編集者は一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

欧州生対象オンラインによる春期講習会開講！

1クラス7名までの少人数クラスで、インターラクティブな授業を行います。

【開講講座】

小4～小5受験コース：国語・算数

小6標準コース：国語・算数・英語

小6受験コース：国語・算数・英語

中1～中3受験コース：国語・数学

小4～中3を対象にした通常時のオンライン授業も行っています。春期講習会および通常時の授業にご興味のある方は、以下までご連絡ください。

online@joba-london.co.uk (担当：住川)

*各クラスともに定員に達し次第締め切らせていただきます。



JOBA International London 1F Lawford House, Albert Place, Finchley, London N3 1QA U.K.



Tel: +44 20 8343 4332

joba-uk.jolnet.com



Cambridge

 *United Kingdom*

ファミリー・フレンドリーな ケンブリッジ大学付属博物館

昨年のハートライナー倶楽部 4月号で、オックスフォード大学付属博物館の数々を取り上げたのに続き、今号ではライバル校ケンブリッジ大学の付属博物館と植物園をご紹介します。オックスフォードではファンタジー物語と博物館との関連を探ったが、ケンブリッジでは、高度に学術的な一方で、実は家族連れにもとてもやさしい博物館の実像に迫ってみたい。





ケンブリッジの街と大学の歴史

「ケム川にかかる橋」を街の名の由来とするケンブリッジは、古くから川に沿って開けた商業の街として栄えていた。ここが突如大学の街になったのは、13世紀初頭のこと。オックスフォードで大学と地元民との間に激しい対立が起こり、それを逃れてこの地に来た学徒たちが新たな大学を設立したためだった。

このように、ケンブリッジ大学はオックスフォード大学とルーツを同じくしながらも、創立以来今日に至るまで、世界最高学府1、2位の座を争うライバル校という存在だ。ニュートンやダーウィン、詩人のバイロン、英国初代首相ウォルポールから俳優のエディ・レッドメインまで、あらゆる分野で優秀な人材を輩出し、ノーベル賞受賞者の卒業生は今日までに百人以上を数える。

近年はとりわけ先端テクノロジー分野での開発実績が際立ち、周辺に関連企業が進出してIT集落を形成。一帯がアメリカのシリコン・バレーをもじってシリコン・フェンと呼ばれるまでにいった。昔は特権意識の強い大学と地元民の間にいさかいが絶えなかったようだが、今では大学は街の誇りとなり、経済的にも文化的にも大きく貢献している。

ケンブリッジまでは、ロンドンから列車で約1時間。降り立ってまず驚くのは、この街の観光地としての人気の高さだ。各カレッジが独自の学内ツアーや図書館ツアーを催しており、大学自体が観光名所となっている。中でもキングス・カレッジのチャペル・ツアーは大人気で、その壮麗なゴシック建築物の前には、いつも長蛇の列ができています。

そんな美観と、落ち着いて知的なたずまいがケンブリッジの魅力だ。しかし、そんな「知」と「美」はただ雰囲気としてそこにあるのではない。大学の存在はもちろんだが、それ以外にもここでは学生と一般の人々の知性、感性に磨きをかけるための継続的な努力が払われている。そこで大きな役割を果たしているのが、大学付属の博物館だ。

科学から美術まで バラエティーに富んだ博物館群

ケンブリッジ大学は博物館8館と植物園の、計9つの付属施設を持っている。理科系、文科系、美術系とバラエティーに富み、大学が世界に誇るコレクションが見られる。科学機器の博物館や人類学の博物館など、大学の科目に沿ってオックスフォードと似た発達の仕方をした館がある一方、この地特有の条件から独自の形態を持つ館もあつておもしろい。

オックスフォードの付属博物館はほとんどが入場無料だが、万人への公開を目指すケンブリッジでも、植物園を除き全館が無料で公開されている。

イギリスで学ぶ

様々な文化交流活動を通して歴史に裏打ちされた真の国際教育を実践

【学校説明会情報】
 毎日新聞進学博 私立中学受験フェア2019：4月7日(日) 11:00～16:00 <大阪コングレコンベンションセンター>
 ベネッセ進学フェア：5月26日(日) 10:00～16:00 <東京国際フォーラム>
※詳細は本校ホームページをご覧ください。

1972 **RIKKYO SCHOOL IN ENGLAND**
立教英国学院
 Guildford Road, Rudgwick, West Sussex RH12 3BE U.K.
 tel: +44(0)1403-822107 email: eikoku@rikkyo.uk
 詳しくはHPをご覧ください。 www.rikkyo.co.uk

- 小学部5年から高等部3年まで、男女共学・全寮制
- 自然に恵まれた広大なキャンパス
- 徹底した少人数教育によるきめ細かい指導
- 日本の教育とイギリスならではの英語教育を両立
- 希望者は各学期ケンブリッジ大学での研修可
- イギリスの大学への進学も積極的にサポート
- 立教大学に約半数が推薦入学、他大学推薦枠も多数

充実した異文化交流プログラム

地元 Collyer's Collegeとの教育連携、Cambridge大学研修、UCLロンドン大学研修、Cambridge大学Science Workshop、年3回のHome stay、現地校短期留学など。



学校見学随時受付中!



文科系、美術系の4館へ

真つ先に訪れたいのが「フィッツウィリアム・ミュージアム」。オックスフォードでいえばアシュモリアン・ミュージアムに当たる大型総合博物館だ。古代エジプトの発掘出土品から、アジアやイスラム美術、中世彩色写本、ターナーやコンスタブルの名画まで、あらゆる時代の文化遺産が集合している。彫像や浮彫りで飾られた新古典様式の建物自体も美しく、こちらにもじっくり鑑賞したい。

「考古学人類学博物館」は、人類の歴史を考察するための資料となる世界各地の祭祀用品や儀式用品、日用品を展示している。収蔵品の時間的範囲は、古代から現代まで200万年に及ぶ。

「古典考古学博物館」はユニークな彫像の館だ。「当館に本物は一つもありません」と豪語するとおり、すべてがレプリカ石こう像。ここは美術や古典を学ぶ学生のために、世界中に散らばる古典彫刻を一堂に集めて見せることを目的にした、いわば美術の教科書の立体版といった場所なのだ。本物でないといわかっていても、ミロのヴィーナスやアポロ像など彫刻界のスーパースターや神話に登場する神々の像が林立する中を歩くと、不思議と彼らの威厳を感じてしまう。他ではちよつとできない体験だ。

市の中心部からやや離れた静かな一角にある「ケトルズ・ヤード」は、美術愛好家の夫妻が1960年代に大学に寄贈した邸宅だ。夫のジム・イードは、ロンドンにあるテイト・ギャラリーの学芸員を長く務め、そのときに培った画家たちとの交友関係から一大美術コレクションを築いた。パリのカフェで画家のミロから自作の絵を贈られたとき、イード氏がお礼にコーヒーを一杯おこつた、というのは有名な逸話だ。住まいは当時のまま保存され、絵画や彫刻のコレクションと、夫妻がしつらえたセンスのよ



いインテリアを見て回ることができる。隣には近現代美術のギャラリーとカフェが併設されており、ゆつたりとアートを楽しむ1日が過ごせるだろう。

理科系の4館と植物園を踏破

続けて、理科系博物館4館を訪ねてみよう。南極・北極探険にまつわる品々を展示する「ポーラー・ミュージアム」、古色蒼然たる歴史的科学機器が並ぶ「ウィットブル・ミュージアム」、化石、岩石、鉱物コレクションが充実した「セジウィック・ミュージアム」は、いずれも歴史の重みを感じさせる博物館だ。

子どもたちに大人気の「動物学博物館」では、20メートルを越す迫力のナガスクジラが入り口で出迎えてくれる。館内にも、アジア象やコモドオオトカゲなどの大型骨格標本が勢ぞろい。視覚的にドラマチックで、博物館を舞台にした映画の中に入り込んだかのような気分になる。ここにはまた、ダーウィンが自ら採集したカプトムシの標本箱、といったお宝もある。最後は広大な「植物園」へ。ここは18世紀

に医学生を教育する薬草園として設立されたが、今では植物種が8000種に増え、ケンブリッジになくはないツリーリスト・アトラクションとなっている。園内は約30区画に仕切られ、森や池、バラ園、ロック・ガーデンと、次々に違った景観が現われて目を楽しませてくれる。植物園は通常春夏が見ごろだが、紅葉がきれいな樹木を集めたオータム・ガーデン、常緑樹や冬に花をつける植物のそろうタウインター・ガーデンもあり、1年中楽しめるよう工夫されている。

ガーデン・カフェで休息をとりながら、植物園だけで半日は散歩したい。付属施設全9カ所を巡るには、少なくとも2日は必要かもしれない。

知を分け合うファミリー・フレンドリーな姿勢

2019年にセジウィック・ミュージアムと動物学博物館が、ファミリー・フレンドリー・ミュージアム賞の候補に選ばれた。残念ながら受賞は逃したが、これだけで両館がどれだけ子どもを受け入れに力を入れているかがわかる。平日でも夕方になると、学校帰りの子どもたちがセジウィック・ミュージアムで貝殻標本に囲まれながらアンモナイト化石の塗り絵をしたり、動物学博物館で父親に肩車されながら鳥類標本に見入っていたりするのを見かける。学者も訪れるほど高度に学術的な場に、子どもたちが自然に溶け込んでいる姿が印象的だ。

これらの博物館は、元々学生のための教育研究施設として作られ、当初から外部の研究者の受け入れにも積極的だった。この「知を分け合う」精神が格段に広がり、今ではすべての博物館がそれぞれの展示品に関連した講座やワークショップ、イベントなど多彩なプログラムを組

4 考古学人類学博物館の土器の展示 5 レプリカ彫刻が林立する古典考古学博物館 6 セジウィック・ミュージアムで駆け回る子どもたち 7 ナガスクジラが見下ろす動物学博物館 8 植物園のスクールズ・ガーデン 9 ケトルズ・ヤードが主催するプランナー、キュレーター養成講座 写真: 4 © Museum of Archaeology and Anthropology, 5 © Museum of Classical Archaeology Cambridge / photographer Alice Boagey, 6 © 2020 Sedgwick Museum of Earth Sciences, 7 © University of Cambridge / Julie Sarmiento Photography, 8 © Cambridge University Botanic Garden / Howard Rice and Martin Bond, 9 © Kettle's Yard, University of Cambridge / photo: Paul Allitt



んでいる。対象年齢も子どもを中心に、青少年、大人、高齢者までと幅広い。その中からいくつか特徴ある試みをピックアップしてみよう。

動物学博物館には、少年少女向け「ズーロジスト・クラブ」があり、メンバーになった子どもたちは動物グッズをもらったり、動物に関する学習会に参加できる。植物園には小中学生を対象にした「スクールズ・ガーデン」があり、生徒たちが学級単位で訪れ、植物講座を聞いたり、栽培体験をする学習の場となっている。さらに、古典考古学博物館は、スタッフのラテン語知識を生かし、地元の小学校で放課後ラテン語クラブを開催している。

ウィットプル・ミュージアムは時々サイエンス・フィクション朗読会を開く。いにしえの理科系オブジェに囲まれたこの博物館ほど、H・G・ウェルズなどの空想科学物語を聞くのにぴったりな場所はないだろう。

ケンブリッジ市と大学が共同で発行する「博物館での夏休み」なるパンフレットを開いてみると、子ども向けの工作教室や宝探しゲームなど、盛りだくさんのアクティビティが掲載されている。博物館同士が連携して、フェスティバルを共同開催することもあった。

これらの博物館は、学校とはまた違う、遊びながら楽しく学べる教育機関としてしっかり機能している。ケンブリッジ大学付属博物館というと敷居が高そうなイメージがあるが、その実像は実にファミリー・フレンドリーで、うれしい方向に予想が裏切られる。ちよつと扉を開けてみれば、そこは知的刺激に満ちた世界。教養を高める機会がいくらでも開かれている。もちろん大人向けのプログラムも充実しているので、イースター・ホリデーや夏休みに、家族で、友人同士で出かけてみてはいかがだろうか。

(清水晶子)

●ケンブリッジ大学付属博物館
www.museums.cam.ac.uk



[スペイン ● マラガ]

熱狂と厳粛、豪華な山車が街を練り歩く

セマナ・サンタの宗教行列

INFORMATION

マラガのセマナ・サンタ
Semana Santa en Málaga

Paseo Antonio Machado, 12, 5ª Planta, torre B - C.P. 29061 - MÁLAGA
+34 951 92 60 20

www.malagaturismo.com

期間：2020年4月5日～12日（毎年変動）
料金：無料

セマナ・サンタ（聖週間）とは、キリストの受難と死を記念しその後の復活を祝う祭りであり、スペイン版のイースター。この国では最も重要な宗教行事で、キリストやマリア像を乗せた山車を信者が担いで歩く「プロセシオン」と呼ばれる宗教行列は圧巻だ。スペイン各地で行われるが、アンダルシア州マラガの宗教行列は最も有名で、国際観光行事にも指定されている。

宗教行列で使われる山車をマラガでは「トロノ」と呼び、キリストの受難や死の場面を再現する。壮麗なトロノの中でもマリア像を乗せた山車はとりわけ豪華絢爛。その重量は1500〜2000キロ、重いものだと6トン近くにも及び、担ぎ手の肩に30〜40キロ、ひどいときには100キロもの重みがおし掛かる。重みに耐えて長時間歩き続けることでキリストが受けた苦痛をしのぶのだ。キリストの苦しみをさらに体感するためと、靴を履かずに裸足のまま歩く人や鎖をつけて歩く人の姿も。宗教行列はおごそかな音楽を奏でる楽団を従えて大聖堂へ向かい、その後再び教会へと戻るが、進行がゆっくりなので往復に10時間以上かかることもある。

宗教行列を先導する巡礼者の中でも、目の部分だけ穴が開いた三角帽子をかぶっている人の姿が衝撃的だが、彼らはナサレノと呼ばれる受難者の仮装をした人たちだ。

（ボッティング大田朋子）

Spain

1 宗教行列は連日夜まで続く 2 三角帽子をかぶっているのがナサレノ 3 『最後の晩餐』を再現した宗教行列 4 アンダルシア州のマリア像山車は天蓋つき 写真：© Área de Turismo Ayuntamiento de Málaga



スペイン海外引越

スモールパッケージサービス（航空便・船便）

お問い合わせは日本語でお気軽にどうぞ。

E-mail: nee.removal@neeur.com

スペイン日通公式 WEB サイトも是非ご利用ください。

www.nipponexpress.com/moving/es

 スペイン日本通運（株）
Nippon Express de España, S.A.

1 さまざまなニュアンスを持つパステルブルー 2 抽出から精製までの過程を見学体験できる工房は要予約 3 テキスタイルからコスメティックまで、パステル製品が購入できる 4 工房スタッフが一年を通して手塩にかけた花盛りのパステル畑 写真：1・2 © 兒玉ゆきこ yukiko kodama、3・4 © Le Bleu de Lectoure



INFORMATION

ブルー・ドウ・レクトゥール
Bleu de Lectoure

55 rue Alsace Lorraine, 32700 Lectoure
+33 05 62 28 14 93

www.bleu-de-lectoure.com

時間：月・火・木～土 10:00 - 12:30 / 14:00 - 18:00

水 14:00 - 18:00、日 10:00 - 13:00

[フランス ● レクトゥール]

パステルブルーを訪ねて

ブルー・ドウ・レクトゥール

フランス南西部を流れるガロンス川周辺に繁殖するホソバタイセイ。黄色のかわいらしい小さな花をつけるこの植物の葉から抽出される染料「パステル」は、アジアから安価なインディゴが輸入されるようになるまで欧州で唯一の青の染であった。ルネッサンス時代に「女王のブルー」と呼ばれヨーロッパの王侯貴族階級女性たちの間で大流行し、「ブルーの金」ともいわれる青の顔料パステルは、この地方に富と文化遺産をもたらした。

ジェルス県にあるレクトゥールは、トゥールーズ、アルビー、カストル同様、当時パステル交易により栄えた小さな町。ブルー・ドウ・レクトゥールは、この地域の知的遺産であるパステル文化を継承し続ける染色工房だ。工房のスタッフが手塩にかけて栽培するパステルの葉から青のピグメントが抽出加工精製され、最終的に上品なブルーの顔料となるまでの工程が見学できる。パステルの顔料で染められたそれぞれに表情の違うテキスタイル製品は、併設するブティックで販売されている。

また、ブルーの原料としては生産性が低く量産化の難しいパステルであるが、染料としてもはやされる以前、さかのぼれば中世の頃にはすでに防虫酸化防止効果のある薬草として重宝されていた。近年その美容効果が再注目されるパステルオイルを使ったコスメのラインナップも充実している。(兒玉ゆきこ)

フランス日本通運 パリ海外引越センター

お問い合わせは、日本語でどうぞ。

1 rue du Chapelier, BP 18177 95702 ROISSY CDG CEDEX

TEL +33 (0)1-4184 6350

フランス日通

公式サイト: www.nipponexpress.com/moving/fr

E-MAIL nittsu.paris@neeur.com

フランス 日通

検索



フランス日本通運(株) NIPPON EXPRESS FRANCE S.A.S

Germany



1 メイド・イン・デュッセルドルフの音楽を知ることができる、音楽ジャーナリストの男性2人によるガイドツアー 2 デュッセルドルフ出身の芸術家によるハイブリッド・ハイネ駅に設置されたスピーカー 3 かつて芸術家の集まった居酒屋は、現在はライブミュージックが楽しめるナイトクラブとして人気 写真: © norikospitznagel



INFORMATION

サウンド・オブ・デュッセルドルフ
The Sound of Duesseldorf

www.duesseldorf-tourismus.de/erleben/
veranstaltungen/veranstaltungskalender/musik^
ツアー集合場所: Dreischeibenhaus 1
ツアー時間: 土 11:00 ~ (2時間/ドイツ語と英語)
料金: 大人 13€

[ドイツ・デュッセルドルフ]

ロック & パンクミュージック発祥スポットを巡る サウンド・オブ・デュッセルドルフ

ドイツ国内最大規模の日本人街で知られるデュッセルドルフは、和食レストランや日本の日用品を求める国内外の日本ファンに人気の街。一方で、芸術やファッションの発祥地のライン川河畔や高級ショッピング通りなど、他にも観光客をひきつけるスポットが充実している。

限られた時間内で多くの観光スポットを巡るには、同市観光局が提供するツアーに参加するのが良い。待たずに観光要素に入場できる特典があり、時間を有効に使えるからだ。夜警ガイドによる市内巡りや地ビールを味わう醸造所巡りなど、多彩なコースを選ぶことができる。

中でも昨年6月から始まった音楽ツアー「サウンド・オブ・デュッセルドルフ」が注目を集めている。ルートは、50年ほど前からミュージシャンや芸術家が集まり、独自の創作音楽を生み出した旧市街を中心に、地元を盛り上げてきた音楽を聴きながら国内ロック・パンクミュージック発祥の地を巡る。音楽とそのゆかりの建築物や、ここを拠点として活躍するミュージシャンの足跡をたどるツアーは、ドイツの音楽シーンに詳しくなくても充分満足できて面白い。

地下鉄構内で流れるBGMや、街中に流れる、今まで気にも留めていなかった音楽を耳にすれば、デュッセルドルフの新たな側面を知る良い機会になるに違いない。

(シユピッツナーゲル典子)

◆海外引越・欧州域内/国内/市内引越

◆事務所移転 ◆倉庫保管

奥様が主役の引越ですから、もっと楽に!

ハートライナー

「心で運ぶハートライナー」へのお申し込み・お問い合わせは、下記の支店・営業所まで電話か Email でお気軽に。
申込用メールアドレス HEARTLINER@neeur.com ウェブアドレス www.nipponexpress.com/moving/de

- デュッセルドルフ(+49) (0)211-90495-0
- ハンブルク/ベルリン(+49) (0)40-73112-194
- フランクフルト/シュトゥットガルト(+49) (0)69-68974-584
- ミュンヘン(+49) (0)89-37426-353
- ウィーン(+43) (0)1-7007-35411
- ブタベスト(+36) (0)29-553-807
- ブラハ(+420) 255-707-491
- ワルシャワ(+48) (0)22-878-3208
- イスタンブール(+90) (0)212-465-6934

日本語でお気軽にご相談下さい。

日本通運
NIPPON EXPRESS

[ポルトガル・ポルト]

ポルトの夏の夜の夢

サン・ジュアン前夜祭

INFORMATION

サン・ジュアン祭
Festa de São João
場所：ポルト旧市街一帯

6月23・24日の洗礼者ヨハネのサン・ジュアン祭。これなくして夏は始まらない。24日が祭日だが、見どころは23日の前夜祭だ。その数日前から街では大小色とりどりのピコピコハンマーやマンジェリコの鉢植えが売り出される。独特の香りを放つマンジェリコは魔除けになるとの伝承がある。前夜祭23時ともなると、老いも若きも行き交う人々の頭をピコピコハンマーでたたきながら、ドウロ河畔リベイラに繰り出す。この夜だけは誰の頭をたたいても無礼講だ。6月はイワシの旬だ。その炭焼きの匂いとピコピコの音でポルトの街は祭一色に染まり、音楽に合わせてダンスに興じる人々やイワシを食べる人々が盛り上がる。ポルト市庁舎前やリベイラ広場ではライブコンサートが催され、押すな押すなの人混みに。ハンマー、マンジェリコに加えて祭の三種の神器ともいえる熱風船があちこちでゆらゆらと夜空を渡っていく姿はまるで星のようだ。0時ともなるとドンレイス1世橋から盛大に花火が打ち上げられ祭は佳境を迎える。にぎわいは一晩中続く。

昔ながらのサン・ジュアン祭を楽しみたければ、一夜明けた24日に祭の発祥地フォンタインヤス地域を訪れるとよい。この国では「リスボンでは遊び、ブラガは祈り、ポルトは働く」といわれるが、働きのポルトっ子が熱狂するのがサン・ジュアン祭である。(C・S・優子)

Portugal

1 ピコピコハンマーを手に熱風船を上げる親子 2 サン・ジュアン祭の風物詩マンジェリコ (ポルトガル・バジル) 3 サルデーニャことイワシの炭焼き 4 路地裏でダンスやおしゃべりに興じる人々



安心できる引越しをサポート致します

ポルトガル 海外引越

リスボン支店 TEL +351-21-842-9520 FAX +351-21-847-4973 担当 Miguel Estopa (英語可)

オポルト支店 TEL +351-22-947-9500 FAX +351-22-941-6791 担当 Maria João Fonseca (英語可)

日本語でのお問い合わせはスペイン日通バルセロナ支店まで

TEL +34-93-552-2988 FAX +34-93-262-3130

Nippon Express Portugal, S.A

INFORMATION

オドゥンパザル近代美術館

Odunpazarı Modern Müze (OMM)

Şarkıye Mah. Atatürk Bul. No: 37, Odunpazarı Eskişehir

+90 222 221 2737

www.omm.art

時間：火・木～土 10:00 - 18:00、水 10:00 - 20:00、日 11:00 - 18:00

休：月

料金：大人 20TL、学生 15TL、12歳まで無料

[トルコ・エスキシェヒル]

イスタンブールから日帰り観光 トルコの最新美術館

イスタンブールから高速列車で約3時間のエスキシェヒル。ガイドブックにもあまり紹介されないこの地方都市に新しくできた美術館が、国内外で話題になっている。この土地出身の実業家でアートコレクターのエロル・タバンチャ氏が開設した「オドゥンパザル近代美術館」だ。オドゥンパザルは地名で、オドゥンは材木、パザルは市場の意味。その昔材木の売場が盛んに行われていた頃の名残だ。その名の通り、美術館の建物には木材がふんだんに使用されている。設計は日本を代表する建築家、隅研吾氏と池口由紀氏によるもの。「美術館は土地の環境や文化に溶け込む建築で、地域のためにあるべき」との両氏の思いを実らせた場所となった。開館記念として、現地に滞在しながら約1万本の竹ひごを編み込んだ造形作品、四代田辺竹雲斎氏による巨大なインスタレーションも圧倒的な存在感を放つ。この作品は9月8日まで展示されている。トルコ出身の作家による作品群も興味深い。

美術館を出ると裏手には伝統的な家屋を利用したカフェや土産物屋が立ち並び、散策するのに良いだろう。少し歩くと、クルシュンルモスクや、その周辺には博物館や伝統工芸品を制作・販売するアトリエが集まる。エスキシェヒルには古い街という意味がある。古くて新しい顔を持つこの街の魅力を歩いて感じてほしい。(ダールトモエ)

Turkey

1 巨大な竹の作品は来館者に大人気 2 木材を組み上げた美術館の外観 3 子どもから大人まで楽しめる 写真：© tomoedagli



日本語対応だから安心。海外、及び国内引越、そして事務所の移転も私たちにお任せください

トルコ日通

www.nipponexpress.com/moving/tr

Istanbul Dünya Ticaret Merkezi
A2 Block K. 15 No: 444, 34149
Sevketiye Mh. Bakirkoy Istanbul Turkey
TEL: +90-212-465-6934 (内線: 15/19/20)
e-mail removal.istanbul@neeur.com

Nippon Express (Istanbul)
Global Lojistik A.S.



今月の1本



Saint-Aubin Luce, Marc Colin et Ses Fils

サン・トーバン・リュス、マルク・コラン・エ・セ・フィス



写真はイメージです

サン・トーバンは、フランスはブルゴーニュ地方、コート・ド・ボーヌ地区南部にある、1937年にAOC認定を受けたワイン産地。生産量の75%は白ワインです。最も高値で取引されるといわれる白ワインで世界最高峰、モンラッシェを産するピュリニー・モンラッシェ村とシャサーニュ・モンラッシェ村が東と南に隣接した優れた立地条件で、ワインはなかなかの高品質。知名度がまだ低いこともあり、実はお買い得なワインを提供しています。

この白ワインは、粘土混じりの白い石灰岩の土壌で育つシャルドネ種で、ミネラル感のあるフレッシュなスタイル。シャルドネは、白ワイン品種の女王と呼ばれますが、それ自体に強烈な個性はなく、気候や土壌によって味わいがさまざまに変化。冷涼な産地ではハーブやレモンなどより酸味が強く、温暖な産地ではトロピカルフルーツの完熟した果実味が豊か。樽発酵・樽熟成などではナツ

ツやバター、バニラの香りが生まれるなど、いろいろな表情を見せます。

今回ご紹介するマルク・コラン。このドメーヌの白ワインは、サン・トーバンだけでなくコート・ド・ボーヌにおいても、偉大なもののひとつ。マルク氏が1970年に創設、98年にはネゴシアンブランドのマルク・コラン・エ・セ・フィスも立ち上げ、99年から彼の三男のダミアン氏に引き継がれています。現在は近郊の村々と合わせ19ヘクタールの畑を所有。そしてモンラッシェに畑を持つ18の造り手のひとりです。

もともと厚みと力強さのあるこのドメーヌのワインを、ダミアン氏は、醸造工程で多用していたバトナージュ（熟成中のワインの底に沈殿した澱の旨味成分を攪拌し、ワインに風味付けをすること）や新樽の使用、樽熟成などの比重を思い切り減らすことで、より素直な果実味、しっかりした酸とミネラル感の際立つ、緊張感のあるものへと変化させています。

このワインは、陽光を思わせるきらきらした色合いに黄金色のニュアンス、芳しい白い花の香りもあふれるミティアムボティ。カスタードクリームのみろやかさと、火打石のきりりとしたミネラル感。そしてあくまでもエレガント。2017年（約26€）はダミアン氏にとって、酸度と熟度のバランスが良い素晴らしいヴィンテージだそう。後数年熟成させると、蜂蜜のようなとろける風味も。日々進化を遂げるドメーヌの、スリルとそして自信に満ちたシャルドネをぜひ！

（鈴木 かつみ）



【生産地】

フランス・ブルゴーニュ地方

【ブドウの品種】

シャルドネ 100%

【ワインひとくちメモ】

ブルゴーニュの生産体制は、大きくドメーヌとネゴシアンに分けられます。

ドメーヌは、自ら所有するブドウ畑での栽培からワインの生産、出荷まで一貫して行い、ネゴシアンは、ワインの原料を買い付け自社で瓶詰めして出荷。中にはマルク・コランのように、ドメーヌ兼ネゴシアンである生産者もいます。

通 NIPPON EXPRESS (NEDERLAND) B.V.
 海外引越、国内引越、欧州内引越、事務所移転、ジェットパック、シーパック

お問い合わせ

オランダ海外引越

★ 日本人スタッフご案内の安心引越
下見、輸出入手続きのご説明の際は必ず日本人スタッフが参ります。

★ 梱包!!! 何でもお任せ下さい
家具、家電はもとより、食器、ワインボトルまで、豊富な梱包資材で家財なら何でも梱包いたします。

★ AEO認可取得
欧州進出の日系企業で初のAEO認可をオランダ税関から取得致しました。
(AEO: Authorized Economic Operator)

オランダ税関からも認められたオランダ日本通運です。

オランダ日本通運アムステルダム引越センター

AMSTERDAM REMOVAL CENTER 24 CESSNALAAN, SCHIPOL-RIJK 1119NL

TEL: +31 (0)20-500-5200 FAX: +31 (0)20-500-5210 Web: www.nipponexpress.com/moving/nl E-MAIL: removals@neeur.com



ビタミンNと健康

都会に住む現代人が欠乏症に陥りやすい、ビタミンN。
最近では、ビタミンNを処方するプラクティショナーも増え始めているようです。
各種の効果が期待できるので、定期的な摂取を検討してみたいかがでしょう。
< Text by 徳永 ゆり子 >

ビタミンNの原産国は、日本？

一連の動きは、1982年に林野庁が健康的なライフスタイルの提案として「森林浴」という言葉と、そのコンセプトを紹介したこと
にさかのぼります。1998年に日本の研究者たちが「Shinrin-Yoku」という言葉を使って、その効果に関する調査文献を公開し始め、世界の研究者や健康関連の職業に就く個人や団体からの注目を集めるようになりました。この影響を受けて、最近では一般向けの雑誌などでも、森林浴に関する記事が取り上げられるようになってい
ます。日本国外でも、森林で過ごす時間には「Shinrin-Yoku」という言葉が使われ始め、ヨーロッパでも、森林浴に関する書籍が各言語に翻訳されるなど、ちょっとしたブームとなっているようです。

森林浴の研究などを有効なデータとして使用するプラクティショナーたちは、これを「ビタミンN」や「ネイチャー・タイム」と呼んでいます。知りうる限りでは、日本の森林浴研究に注目した、アメリカのプラクティショナーたちが使いた
言葉で、「ビタミンN」の「N」は「Nature」の頭文字。都会暮らしでは欠乏症の傾向にあるため、彼らはビタミンNの処方を取り入れて、患者の症状の改善や健康促進を提案しています。



ビタミンNは、何に有効？

精神の安定やストレス解消はもちろん、バランスを失った機能の回復など、体調不良全般に効果的と言っても過言ではなさそうです。今までに行われている調査では、免疫力の強化、がんの予防、高血圧をはじめとする循環系疾患の改善、アレルギーや呼吸機能の改善、炎症の緩和、抗酸化作用の強化、鎮静効果、ストレス発散、鬱や不安症の改善、脳機能の向上など、各種マーカーの改善が確認されています。また、偉大な自然とつながることによって得られる、感謝の気持ちや無の境地など、忘れられがちなスピリチュアル・センスが得られることも報告されており、その効果はまさに自然の万能薬そのものです。

偉大な自然の力

森林はもちろん、大自然には生態系の生命サイクルを完璧な形でサポートする、偉大な力が備わっています。ビタミンNの原材料は、複雑な構成となっており、大地の持つ放電（アーシング）機能と空気中のマイナスイオンに加え、自然界に生息する動植物や細菌類なしでは語れません。温暖化や環境汚染が進み、地球はすでにバランスを失い始めて、危機に瀕しています。もちろん人間も、この生態系の一部。ビタミンN補給はとても大切ですが、全てが地球の健康に左右されるため、環境保護に協力することもお忘れなく。

引越は私たちにお任せください。

ベルギー海外引越

お問い合わせは下記までどうぞ

www.nipponexpress.com/moving/be

TEL +32 (0)2 751 7814

FAX +32 (0)2 751 9246 E-MAIL: neb.removal@neur.com

Bedrijvenzone Machelen Cargo 738/1
1830 Machelen, Belgium



Nippon Express Belgium N.V.



ヨーロッパで最大手の医療機関
 充実した設備
 日本人医師、看護師で完全日本語対応
 歯科検診も可能
 土曜日午前中の健診も受付

ロンドンで健康診断を 受けませんか？

ジャパングリーンメディカルセンターは、日本の倉敷成人病センターを母体に、シンガポール・上海・ロンドンと、世界で活躍される皆さまに、日本の規定に合った健診を安心して受けていただける医療機関です。日本に帰ることなく受けられる健康診断で早期発見、早期治療を。



<健康診断コース>

日本の健康保険組合「労働安全衛生法」によって定められている定期健康診断の内容に準じたコースをロンドンで受診できます。

●大人コース

日本の健康保険組合「労働安全衛生法」によって定められている定期健康診断の内容に準じた基本コースや、生活習慣病や各種がんなど疾病の早期発見を目的とした4コース。

コンパクトコース £230~
 スタンダードコース £400~
 エグゼクティブコース £650~
 プレミアムコース £830~



●レディース検診

婦人科検診、乳がん検診、プライマルチェックの3コース。

●お子様コース

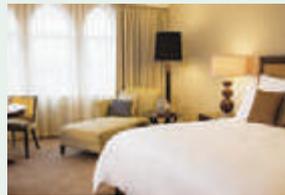
乳幼児(生後6ヶ月から2歳未満)、未就学児(2歳以上)、小学生以上を対象とした3コース。

●オプション

脳ドック、内視鏡検査、MRI検査、ピロリ菌検査、超音波検査など。

<ロンドン健康5つ星パック>

健康診断のコースと、ホテル宿泊をセットでご利用いただけます。さらにコーロスターを加えたお得なプランもご用意。お一人さまからご家族まで、ニーズに合わせた健診プランをご提供いたします。



【ホテル宿泊】交通の便が良く、ロンドンの絶好のロケーションに位置するホテルで、快適にお過ごしください。



【お食事】提携レストランのパウチャーで、おいしいお食事をお楽しみいただけます。
 ※写真はイメージです。



私と家族の大切な荷物だから、実績ある日通に頼みたい。

丁寧に、真心こめて。

お客様第一の日通です。

忙しいご帰国前こそ、日通にお任せください

帰国前のご多忙な時でも、慌てる必要はありません。日通は、梱包からお引越先でのお荷物搬入までお客様に代わって作業いたします。

日本での引越も 日通グループがお世話致します

ヨーロッパから日本に着いたお荷物は、日本の日通グループの引越専任スタッフが責任を持って配達いたします。東京、名古屋、大阪（神戸）、福岡の各支店から日本全土にお届けします。

日本人スタッフの立会いで安心度満点

引越では作業完了まで必ず日本人スタッフが立会い、梱包状況を確認するなど作業を指揮いたします。

目的に応じた梱包資材をご用意

衣類用のハンガーカートン、ゴルフカートン、ワイン用カートンをご用意しています。それぞれに最も適した梱包資材で運ぶことによって、お荷物をいたわります。

各国内引越・欧州内引越も承ります

海外引越だけでなく、各国内引越、欧州内引越、家財保管もご安心してお任せください。

きめ細かなサービスが自慢です

日本のご実家にお荷物を残して赴任されていた場合、帰国後の日本での引越に先立ち日通がご実家へ下見に参ります。引越の際はご実家からのお荷物と海外から送られてきたお荷物が同日に着くようにも手配いたします。

引越のご用命は次の事務所へどうぞ。

- | | | | |
|--|--|--|--|
| ■ イギリス (国番号 +44) / アイルランド
ロンドン & グラスゴー、ダブリン
.....(0)20-8737-4200
マンチェスター(0)161-436-7500
ニューカッスル(0)191-519-7950
イーストミッドランド
.....(0)1332-850-770 | ■ スイス (+41)
チューリッヒ(0)44-836-9966
ジュネーブ(0)22-929-0310 | ■ ベルギー (+32) / ルクセンブルグ
ブリュッセル(0)2-7517814/5 | ■ ケニア (+254)
ナイロビ(0)20-4938310 |
| ■ ドイツ (+49)
デュッセルドルフ(0)211-90495-0
フランクフルト & シュトゥットガルト
.....(0)69-68974-584
ハンブルク(0)40-73112-194
ミュンヘン(0)89-37426-353 | ■ オーストリア (+43)
ウィーン(0)1-7007-35411 | ■ スペイン (+34)
マドリード91-748-0862
バルセロナ93-552-2986 | ■ 南アフリカ (+27)
ヨハネスブルグ(0)11-541-9000 |
| ■ フランス (+33)
パリ(0)1-4184-6350 | ■ ポルトガル (+351)
リスボン21-842-9520 | ■ ハンガリー (+36)
ブタペスト(0)29-553-807 | ■ トルコ (+90)
イスタンブール(0)212-465-6934 |
| | ■ チェコ (+420)
プラハ255-707-491 | ■ ポーランド (+48)
ワルシャワ(0)22-878-3208 | ■ アラブ首長国連邦 (+971)
ドバイ(0)4-282-0417 |
| | ■ ロシア (+7)
モスクワ(0)495-609-6023 | | ■ サンクトペテルブルグ
.....(0)812-335-7626 |